

## 研究実施における情報公開 (松戸歯学部単独研究)

研究の名称；重症菌性感染症および顎放線菌症に対する臨床的検討（承認番号：EC 17-037）

研究期間；H30年4月4日～R5年4月3日

研究機関・講座；日本大学松戸歯学部・口腔外科学講座

研究責任者；専任講師・田中茂男

### 1. 研究対象者

2006年4月～2023年3月までに日本大学松戸歯学部付属病院口腔外科にて、菌性感染症および顎放線菌症と診断され、入院加療を必要とされた方。

### 2. 研究目的・意義

目的：

菌性感染症および顎放線菌症は歯科医にとって遭遇する機会の多い疾患であり、重症化することも稀ではありません。そのため、治療を受けられた患者さんの状態や診療内容を診療録から情報を取得し、より適切な治療法の検討を行うことを目的とします。

意義：

菌性感染症および顎放線菌症がどのような環境下で重症化されるかはいまだ不明で、多種類にわたる口腔常在菌の存在と宿主の全身状態との関係を追究する必要があります。そのためには、多くのデータの集積が必要です。本研究は、患者さんの診療録を調査することで、菌性感染症および顎放線菌症の治療方法改善の一助となる可能性があります。

### 3. 方法

診療録より、患者さんの基礎疾患、原因病巣、原因菌、感染波及経路、臨床検査データ、手術方法、使用抗菌薬、予後等を調査します。集積されたデータを一覧表にまとめ、重症化に影響を与える因子、および選択した治療法が予後に与える影響因子等を検討します。

### 4. 研究に利用する試料・情報等

情報：診療録情報[傷病名、性別、年齢、現病歴、発症部位、原因疾患、原因病巣、原因菌、感染波及経路、リスク因子（生活習慣）、基礎疾患、臨床検査データ、画像検査所見、手術方法、病理組織学的所見、使用抗菌薬、全身管理方法、予後]

### 5. お問い合わせ先

本研究は、倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした試料・情報等には匿名化処理を行い安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。研究の詳細をお知りになりたい場合は、下記までお問い合わせください。他の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書等を閲覧することが出来ます。

本研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。成果を発表する場合には、研究に参加していただいた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。

なお、研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究で利用して欲しくない」と思われた場合にも、その旨をご連絡下さい。ご了承いただけない場合には研究対象といたしません。また、その場合でもご自身に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ先>

研究責任者：日本大学松戸歯学部・口腔外科学講座・専任講師・田中茂男

電話番号：047-360-9540

-----以上